

# 田原本町における雨水貯留施設に関する整備への取り組み



①社会福祉協議会駐車場地地下貯留施設  
(貯留量 3,873 m<sup>3</sup>)

②田原本埋蔵文化財センター駐車場地地下貯留施設  
(貯留量 1,127 m<sup>3</sup>)

## 施設概要

総貯留量 5,066 m<sup>3</sup> (表面貯留含む)

構造 プレキャスト式雨水地下貯留施設

諸元 ① 設置面積 A=1,148 m<sup>2</sup> 内空高 H=4.0m

② 設置面積 A= 497 m<sup>2</sup> 内空高 H=3.0m

田原本町産業建設部まちづくり建設課

奈良県 田原本町

## 大和川流域の概要

大和川は、大和平野の大小多数の支川を合わせながら、亀の瀬峡谷を経て、大阪湾に注ぐ一級河川である。

奈良県内の流域に157本の支川が放射状に位置し、大和川に合流しながら1本の流れとなり、狭い峡谷の亀の瀬を通り、大阪湾へ流れる。

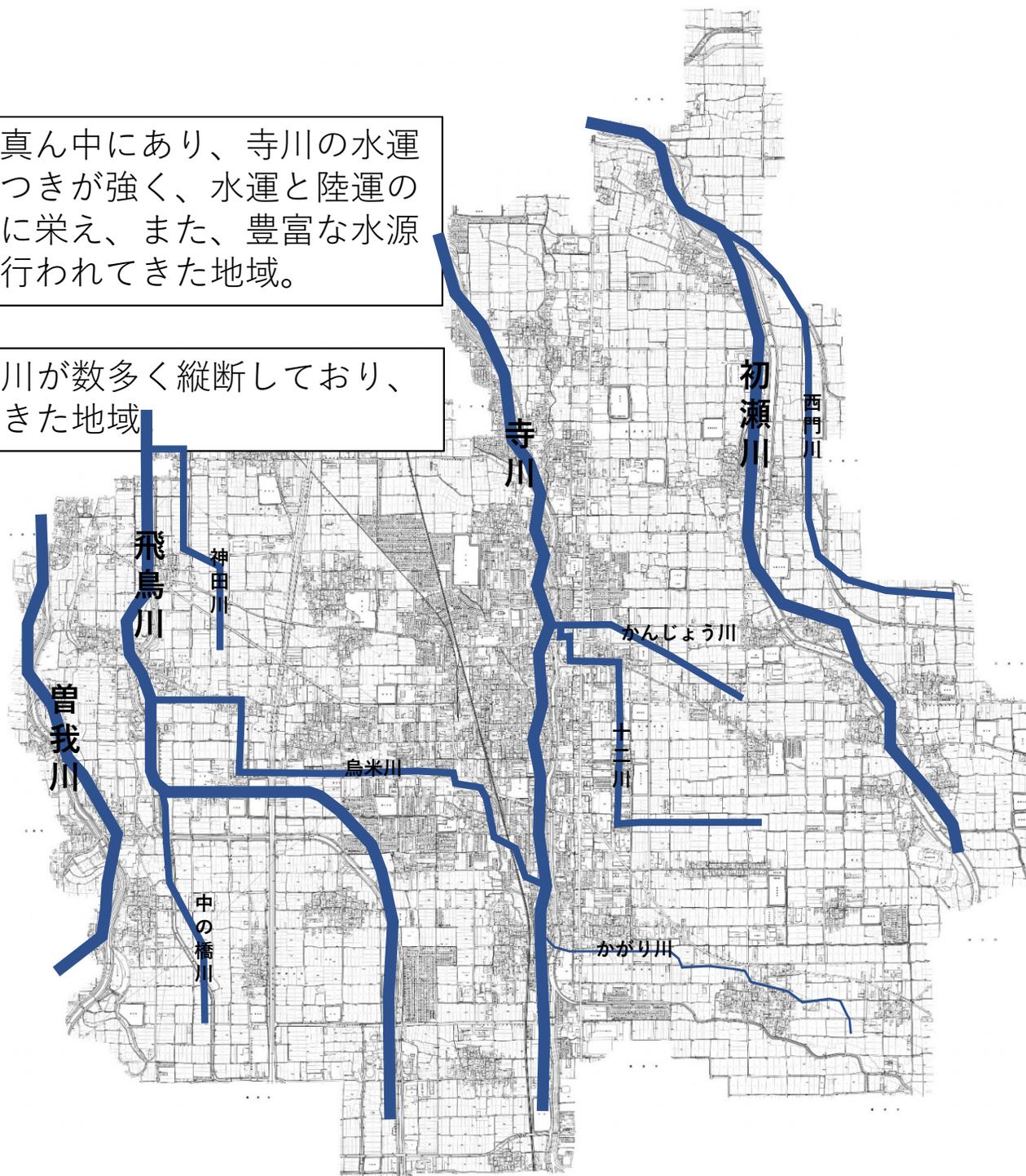
亀の瀬の河川断面が小さく、大和川本流の水位が上昇しやすく、支流からの流入が困難となり、内水氾濫し易い流域。



## 田原本町の概要

田原本町は奈良盆地の真ん中にあり、寺川の水運によって大阪との結びつきが強く、水運と陸運の要所として商業が大いに栄え、また、豊富な水源を恩恵に農業も盛んに行われてきた地域。

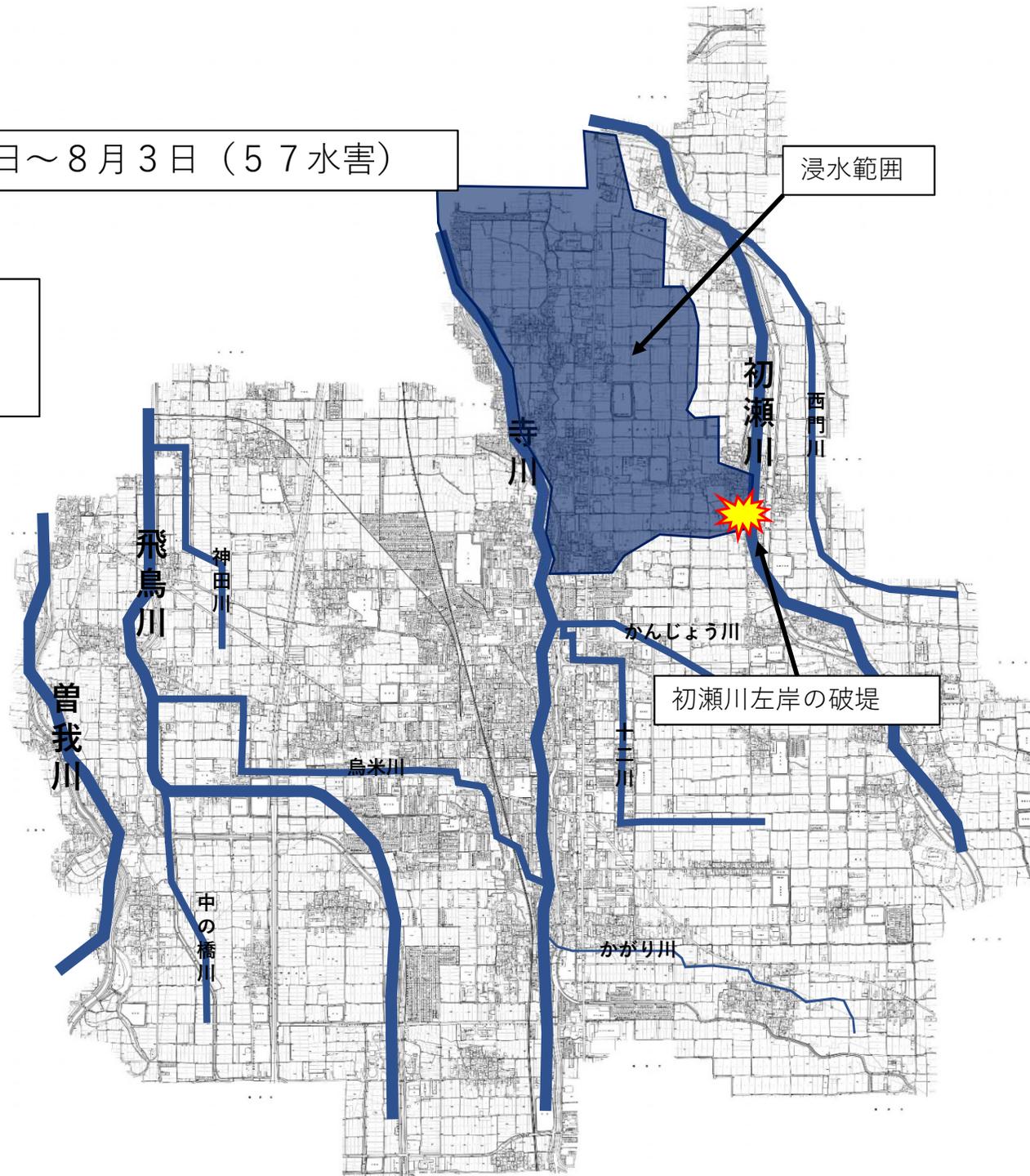
その一方、大和川の支川が数多く縦断しており、幾度も水害を経験してきた地域



# 過去の水害被害

昭和57年7月31日～8月3日（57水害）

家屋損壊・・・108棟  
床上浸水・・・432棟  
床下浸水・・・620棟



国道24号（唐古交差点）の浸水状況



浸水後の田原本町法貴寺集落周辺状況

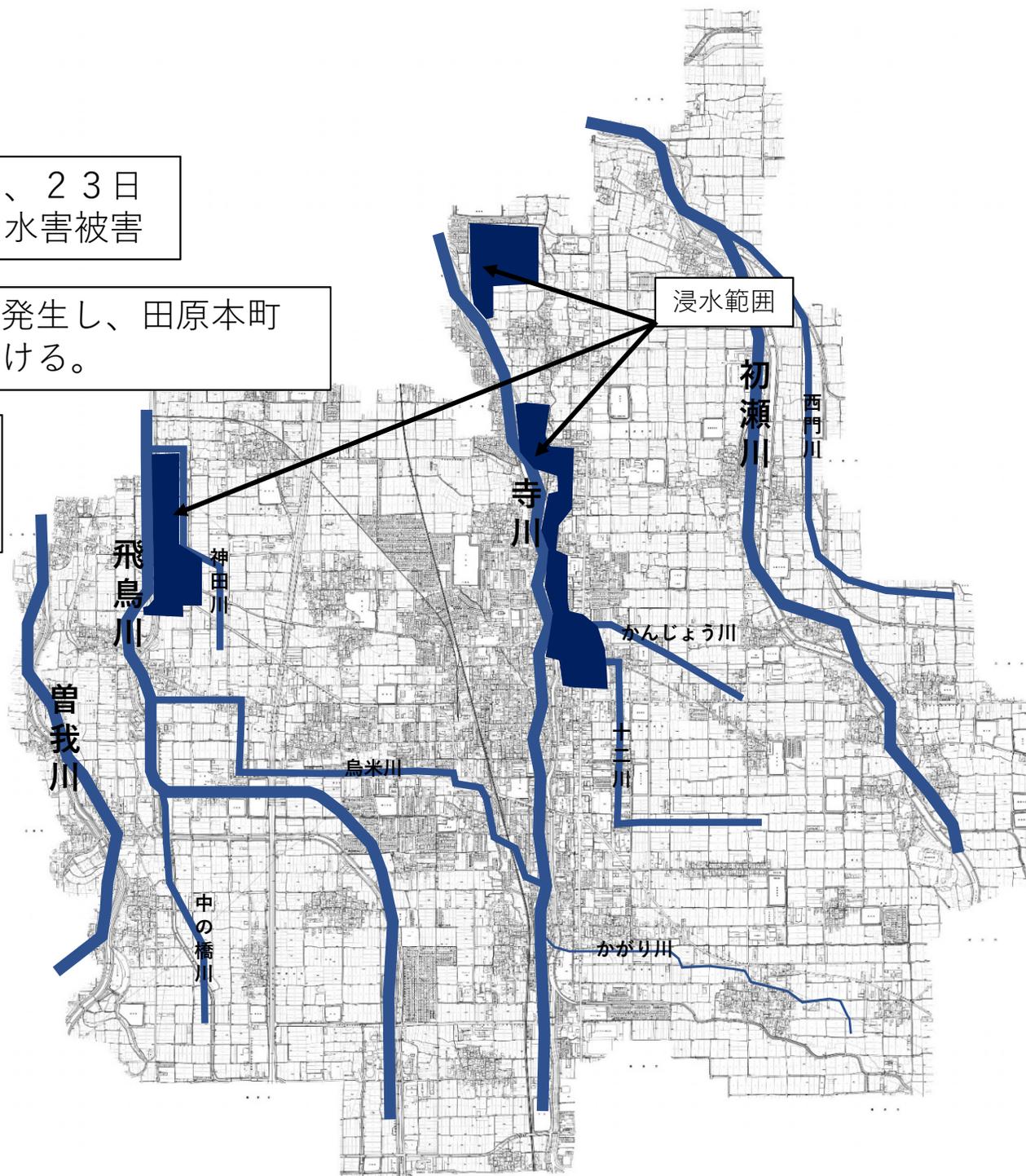


## 直近の水害被害

平成29年10月22日、23日  
台風21号の大雨により水害被害

大和川流域で浸水被害が発生し、田原本町も  
も床上床下浸水被害を受ける。

日降水量・・・214.5mm  
床上浸水・・・10棟  
床下浸水・・・46棟



阪手交差点の県道大和高田桜井線の浸水状況



社会福祉協議会北面町道とかんじょう川の浸水状況



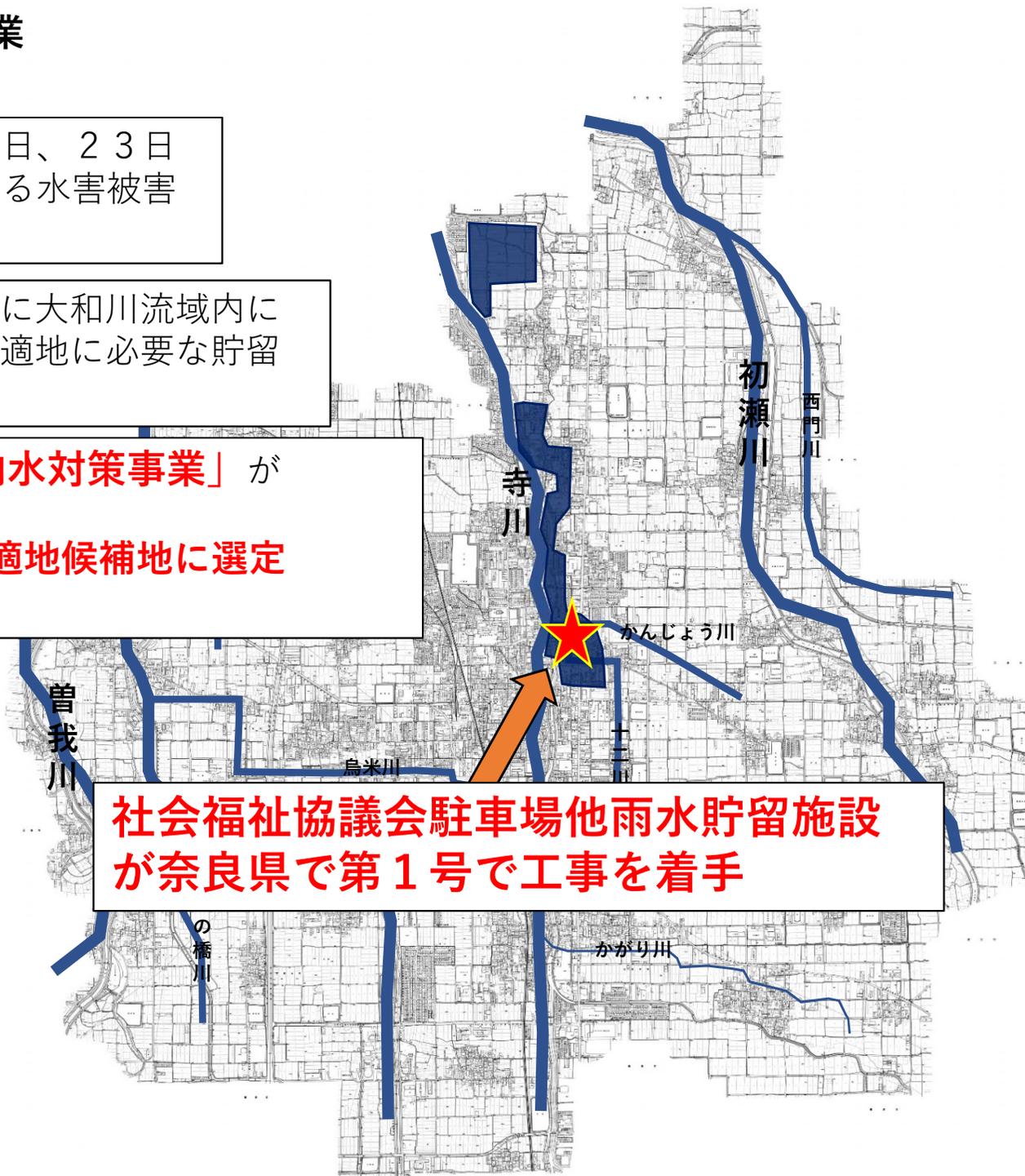
## 平成緊急内水対策事業

平成29年10月22日、23日  
台風21号の大雨による水害被害  
を契機に

平成30年5月17日に大和川流域内  
における内水被害地区で適地に必要な貯留  
施設等を整備していく

**「奈良県平成緊急内水対策事業」が  
キックオフ  
田原本町は6箇所が適地候補地に選定**

**社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設  
が奈良県で第1号で工事を着手**



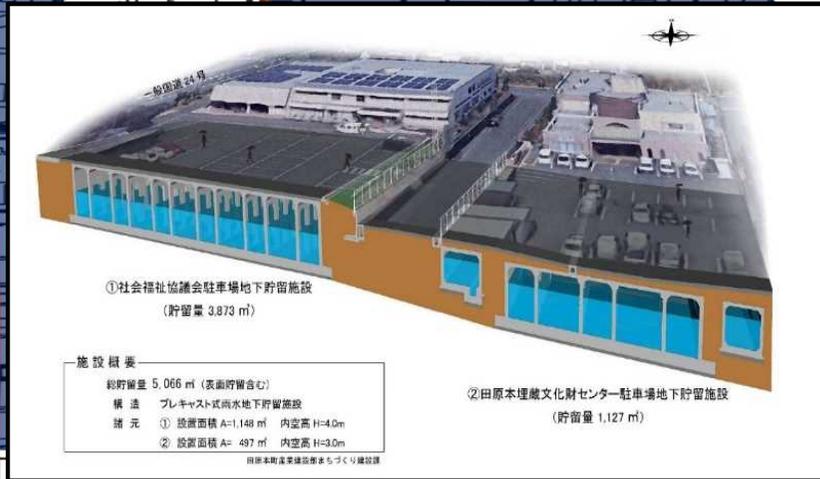
①大雨により寺川の水位が上昇

②寺川支流の排水不良が発生し、水位が上昇

③内水氾濫が発生し、浸水被害が発生

社会福祉協議会駐車場他  
雨水貯留施設の整備により、  
浸水常襲地域における浸水被害が軽減

寺川



①社会福祉協議会駐車場地下貯留施設  
(貯留量 3,873 m³)

②田原本埋蔵文化財センター駐車場地下貯留施設  
(貯留量 1,127 m³)

施設概要  
総貯留量 5,066 m³ (表面貯留含む)  
構造 プレキャスト式雨水地下貯留施設  
諸元 ① 設置面積 A=1,148 m² 内実高 H=4.0m  
② 設置面積 A= 497 m² 内実高 H=3.0m  
田原本町産業建設部まちづくり課設置

十二川





# 社会福祉協議会駐車場他 地下貯留施設完成図



**施設概要**

総貯留量 5,000m<sup>3</sup> (表面貯留除く)  
 構造 プレキャスト式雨水地下貯留施設  
 諸元 ①貯留量3,873m<sup>3</sup> . 設置面積1,148m<sup>2</sup> . 内空高4.0m  
 ②貯留量1,127m<sup>3</sup> . 設置面積 497m<sup>2</sup> . 内空高3.0m

田原本町産業建設部まちづくり建設課



平成30年度	雨水貯留施設詳細設計委託業務	H30.11.9~H31.3.28
	5,538,240円	
令和元年度	社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設整備工事	R1.9.18~R3.1.29
	385,046,200円	
	雨水貯留施設ポンプ設備等詳細設計委託業務	R1.5.17~R2.2.28
	6,930,000円	
令和2年度	社会福祉協議会駐車場他雨水ポンプ施設整備工事	R2.6.12~R3.3.29
	132,554,400円	
総事業費	約5億3千万円	

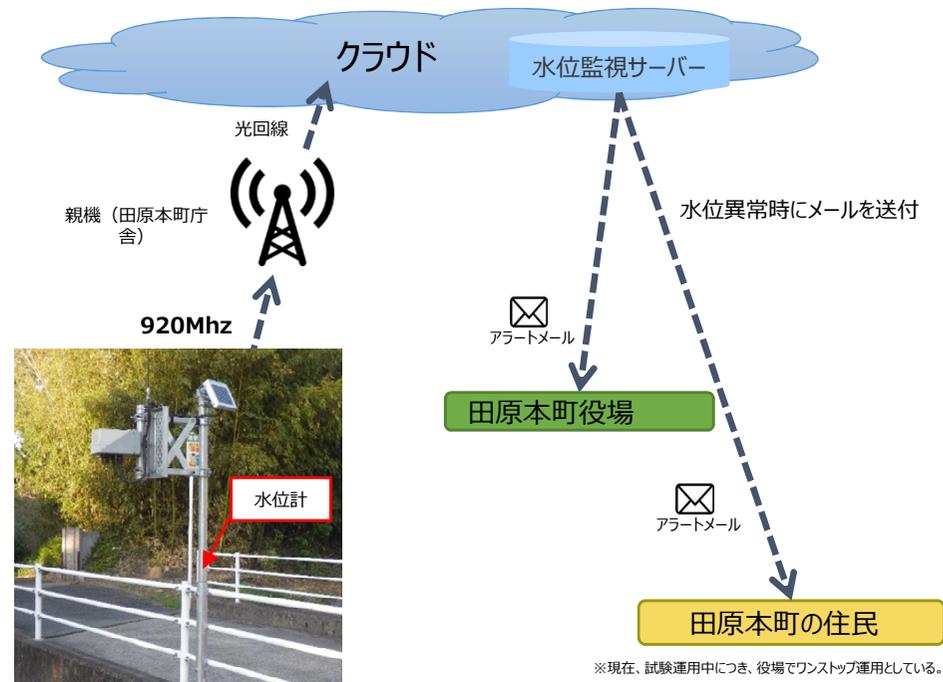
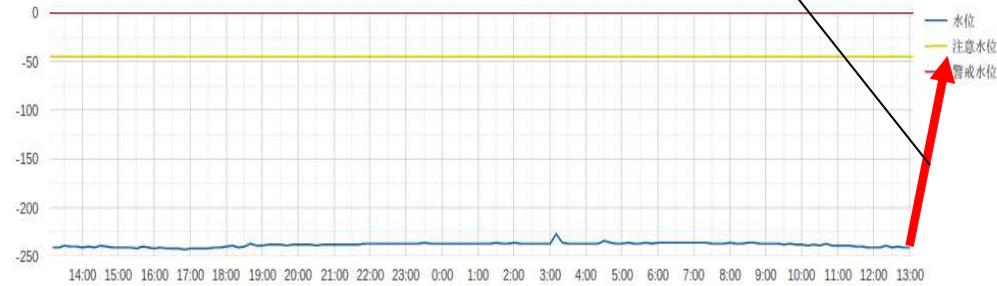
その他の水害対策への取り組みについて

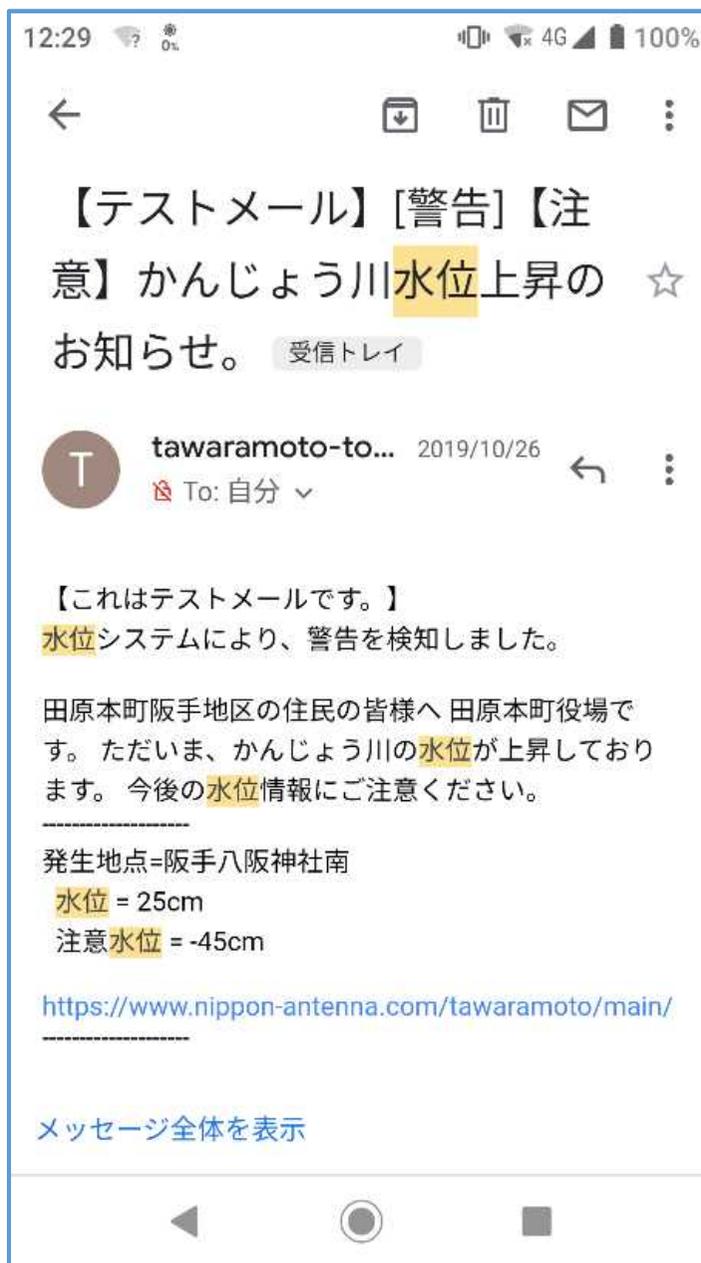
水位監視システム

河川の氾濫による浸水被害に備え、河川の水位をリアルタイムで観測し、注意喚起のメールを自動配信するシステム

河川の水位情報が情報端末からの取得に加えて

河川の水位が注意水位や危険水位に達すると・・・





### メリット

- ・プッシュ型水位情報通知によるリアルタイムな状況把握で、**的確かつ迅速な防災対策が実現**
- ・安全かつリアルタイムな水位状況の情報収集が可能となり、**職員間の的確な情報共有により迅速な 防災体制の構築が実現**

その他の水害対策への取り組みについて

## 堰監視システム

河川を占有している水門等の開閉状況をリアルタイムで監視し、情報端末で状況が把握できるシステム

大雨時の現場パトロールで水門開閉状況を確認するが・・・



## 課題点

増水時や夜間、水門の開閉状況把握が非常に困難。

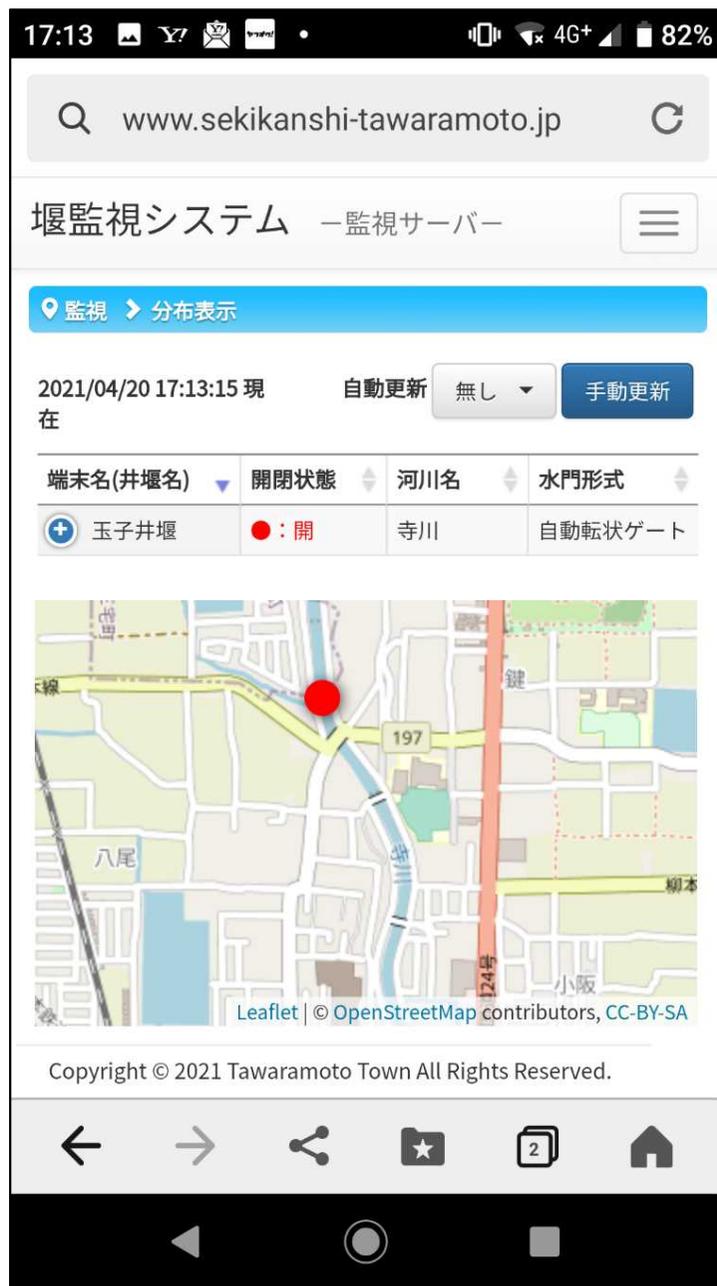
確実に状況把握を行いたい。

水門管理者は水利組合のため、操作依頼や操作後報告は、電話での対応のみ。

信頼性を高めたい

突発的な大雨の際における、水門の開閉状況把握が困難。

スピーディーな対応に努めたい。



### メリット

- ・安全かつ正確な水門開閉状況の情報収集が可能となり、**水利組合との的確な情報共有により、迅速な防災体制の構築が実現**
- ・水門の開閉状況が即座に把握できるため、**的確かつ迅速な防災対策が実現**

その他の水害対策への取り組みについて

- ・水位監視型水位計の設置し、危険水位になるとアラートメールを発報する水位監視型水位システムを導入
- ・灌漑用水門の開閉状況が情報端末で確認できる堰監視システムを導入

今後の取り組みについて

- ・奈良県平成緊急内水対策事業適地候補地の貯留施設整備を推進

